PED202　キリスト教教育 II

徐　有珍

2 単位
オンライン（zoom)
冬 水曜-5限,6限

＜授業の内容とねらい＞

キリスト教教育とは何でしょうか。キリスト教にとって重要な教義や伝統を知り、記憶するだけではなく、その人の中に重大な変化となって現れて、はじめてそれは教育となるのです。そのためにはキリスト教教育者は、教える内容を熟知しているだけではなく、教育対象者を理解し、励まし、さらにはその人のために祈ることが必要となります。キリスト教教育Iでは、これらのことを念頭に置きつつ、旧約聖書時代、新約聖書時代から近代、現代までのキリスト教教育の歴史を振り返り、それと平行してキリスト教教育の原理とその変遷を学びました。キリスト教教育IIでは、それらと平行して現代キリスト教教育の思想とその変遷を学び、ユダヤ人の教育方法であるハブルータを用いて、現代キリスト教教育が抱えている課題と聖書教育について議論を行います。またナラティブ・メソッド（物語形式）を用いて、具体的なキリスト教教育の現場を想定したグループ・プロジェクトにも取り組み、教育の実践を通して自分や教育対象を理解する力と教える力を養います。

＜授業テーマと内容＞

第1週 キリスト教教育 I の復習とハブルータについて
第2週 現代キリスト教教育の思想（１）
第3週 現代キリスト教教育の思想（２）
第4週 聖書教育に関する議論（１）
第5週 聖書教育に関する議論（２）
第6週 現代キリスト教教育の課題
第7週 ＜特講＞ナラティブ・メソッドとは？
第8週 映画鑑賞「Amazing journey 神の小屋より」
第9週 グループ・プロジェクト（１）
第10週 グループ・プロジェクト（２）

＜到達目標＞

① 聖書に基づくキリスト教教育のあり方を実践できるようになること。
② 教育対象者の年齢や、教育のコンテキストに相応しい教育方法を把握することができるようになること。
③ 教育心理学のアプローチを、キリスト教教育の実践において用いることができるようになること。

＜DPとの関連＞

＜授業方法＞

＜(*)教科書・参考書＞

「楽しく学べる教育心理学」桜井茂男著（図書文化社、2017年）

＜成績評価の方法と基準＞

授業参加度 30 %
リフレクション 20 %
小テスト 10 %
課題 20 %
中間レポート/試験 20 %
＊出欠席に関するポリシー：無断欠席は１回につき、最終の１００点満点の素点から１０ポイントが引かれます。

＜準備学習等に必要な時間＞

クラスの復習や課題のために用いる学習時間は、毎週のクラス時間の約１.５倍を目安とします。このクラスの毎週の授業時間は１４０分ですので、クラス外で毎週約２１０分の学習時間を確保して下さい。

＜課題（試験やレポート）に対するフィードバック＞

＜その他履修上の注意点＞

このクラスはユースミニストリー副専攻の必修科目です。